【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公開番号】特開2001-52634(P2001-52634A)
【公開日】平成13年2月23日(2001.2.23)
【出願番号】特願2000-199012(P2000-199012)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｊ　29/94　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　9/39　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　31/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｊ　29/94
Ｈ０１Ｊ　9/39　Ａ
Ｈ０１Ｊ　31/12　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月23日(2006.8.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　画像形成装置であって、気密容器と、該気密容器内に設けられたゲッターを有しており、該ゲッターは無機高分子化合物、もしくは無機高分子化合物に由来する物質により固定されていることを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】　画像形成装置であって、気密容器と、該気密容器内に設けられたゲッターを有しており、該ゲッターはシリケート系接着剤、もしくはシリケート系接着剤に由来する物質により固定されていることを特徴とする画像形成装置。
【請求項３】　画像形成装置であって、気密容器と、該気密容器内に設けられたゲッターを有しており、該ゲッターはホスフェート系接着剤、もしくはホスフェート系接着剤に由来する物質により固定されていることを特徴とする画像形成装置。
【請求項４】　画像形成装置であって、気密容器と、該気密容器内に設けられたゲッターを有しており、該ゲッターはコロイダルシリカ系接着剤、もしくはコロイダルシリカ系接着剤に由来する物質により固定されていることを特徴とする画像形成装置。
【請求項５】　画像形成装置であって、気密容器と、該気密容器内に設けられたゲッターを有しており、該ゲッターはラダー型シリコーン系接着剤、もしくはラダー型シリコーン系接着剤に由来する物質により固定されていることを特徴とする画像形成装置。
【請求項６】　画像形成装置であって、気密容器と、該気密容器内に設けられたゲッターを有しており、該ゲッターはラダー型シリコーン系オリゴマー、もしくはラダー型シリコーン系オリゴマーに由来する物質により固定されていることを特徴とする画像形成装置。
【請求項７】　画像形成装置であって、気密容器と、該気密容器内に設けられたゲッターを有しており、該ゲッターは結合したＳｉ原子と酸素原子を含む接着剤により固定されていることを特徴とする画像形成装置。
【請求項８】　画像形成装置であって、気密容器と、該気密容器内に設けられたゲッターを有しており、該ゲッターは半田合金、もしくは半田合金に由来する物質により固定されていることを特徴とする画像形成装置。
【請求項９】　画像形成装置であって、気密容器と、該気密容器内に設けられたゲッ

ターを有しており、該ゲッターはガラスフリット、もしくはガラスフリットに由来する物質により固定されていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項１０】　画像形成装置であって、気密容器と、該気密容器内に設けられた第１の部材と、該第１の部材に接して固定されたゲッターとを有しており、該ゲッターの固定部は、前記第１の部材の構成物質と固溶体を形成していることを特徴とする画像形成装置。